

白鳥の里通信



上手く行かない様子で困っていた方も、周囲の利用者様の巧みなアドバイスで、楽しく協力し合い作業されておられました。製作により、集中力・想像力そして協調性を高められ、脳の活性化も含めたりハビリに繋がられたと思われまます。

造花などで飾り付けをしました。職員が食べた、アサリや海岸で拾った貝殻など、小物を持ち寄り利用者の皆様に使って頂きました。見本に職員も作りましたが、思いのほか皆様の想像力が豊かで、個性的な力作が豪華に勢揃い、一同感激しました。



五月の第4週は、作業療法で「卓上飾り額製作」を実施しました。色の着いた割り箸と半紙を使って、4つの升を組み立て、各升目にはビーズ・貝殻・ボタン・



卓上飾り額製作

季節に合わせて



だんろのホット木もれ陽 だより



認知症対応型通所介護「大きな樹」は平成19年8月1日の開設から心機一転、今年6月1日より「木もれ陽デイサービス」に事業所名が変更となりました。今後もご利用頂く皆様の健康に配慮しながら、職員一同サービスの向上に努めて参ります。

外出支援



小規模多機能型居宅介護木もれ陽では4月に毎年恒例の外出支援を行いました。今回は花見山を見学に行きました。芝桜が一面に広がりご利用者の皆様各々

で春の香りを楽しませていました。

昼食は遠野町の坂本屋に行き、それぞれメニューを選び水車や池で泳ぐ鯉を見ながら日常とはまた違った景色と食事を味わいました。

花壇作成



小規模多機能型居宅介護木もれ陽・木もれ陽デイサービスでは日中様々な活動を行っており、4月にはウッドデッキに飾るプランターに花を植えました。軍手・エプロンを装着し

懐かしむように職員と一緒に行われていました。女性はエプロンをすると幾つになっても母の顔に、また生き生きとした表情になり笑顔が多く見られてとても素敵でした。

仁愛グループホームNEWS

指定認知症対応型共同生活介護

仁愛グループホームは本年度、事業目標として「生きがいのある生活」を掲げ、利用者様一人一人の要望を実現するために職員一丸となって支援して参りたいと思います。

4月は、利用者様の米寿のお祝いをしました。利用者様と職員と一緒に食材の準備から調理までを行いホットケーキ作りをしました。お祝いされる利用者様だけでなく全利用者様が楽しい時間を過ごす事が出来ました。

5月の端午の節句には菖蒲湯に入りました。グループホームでは季節に応じてゆず湯やみかん風呂など様々なお風呂を提供しております。

6月はNPO法人「はちみつ」様による音楽療法イベントが開催されました。利用者様、職員共に笑顔いっぱいの楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

今後も、利用者様が笑顔になれる楽しいイベントの開催や毎日が楽しく安全に過ごせるように、より良いサービス提供に努めて参ります。



4月



5月



6月